

# 梧桐会(同窓会)開催!!

5月14日(日) 母の日 PM1:00~ 於大崎高校



第36号

平成元年4月1日発行  
発行所

梧桐会

東京都品川区豊町2-1-7  
電話 (786) 3355-6  
都立大崎高等学校内

編集人 渡部良彦  
発行人 千葉治男  
印刷所 日正印刷

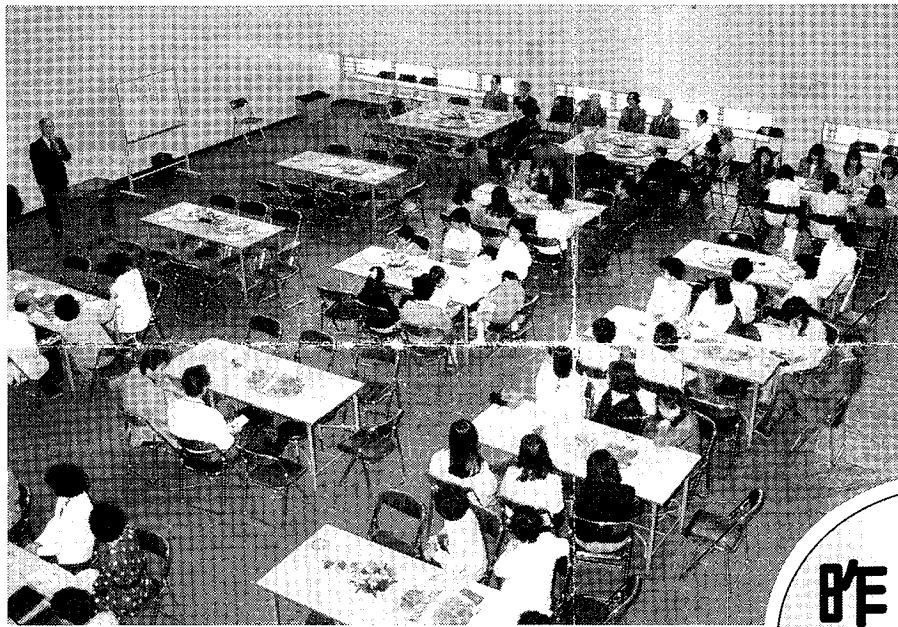
思い出話に

花を咲かせよう!!

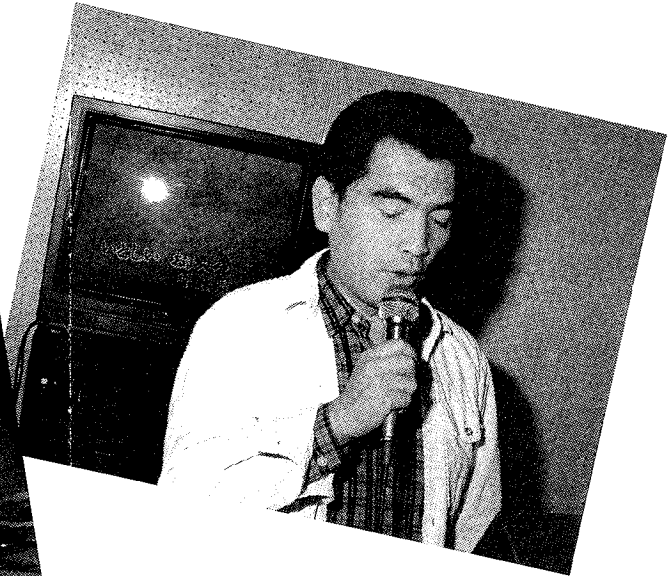
今年もまた母の日がやってきます。梧桐会総会の日です。この日を待ち望んでいた方、お待たせしました。梧桐会では、そのようなあなたをお待ちしていました。昨年は竣工なった格技棟の剣道場で総会を行いました。初めてカラオケ大会を行いました。最後にはマイクの奪い合い?となる位の盛況でした。初夏の一日、恩師・旧友とビール片手に、思い出話に花を咲かせましょう。

ご案内

日時  
5月14日(日)  
12時30分  
(受付開始)  
1時~4時  
会費 500円  
(新卒者は無料)  
プログラム  
会長の挨拶  
学校長の挨拶  
会計報告



## 昨年の 総会風景



昨年四月、第五学区の足立東高校の校長から本校に着任いたしました。また、桜町高校定時制教頭として勝れた力を発揮して来た伊藤先生を全日制の教頭として迎えましたので、私どもどもよろしくお願いいたします。

さて、第一学区の、この伝統ある大崎高校に承られて

らすと同時に、学習に対する緊張感を高め、大崎高校の発展に大きく寄与するもので、先達のご尽力に深く感謝するところであります。

これらのこと、教職員の努力の結果と実を結び、本校の人氣は一段と高まっています。

今や都立高校も、それぞれ

れて昨年度は教育課程の改善を図り、コース制を採用入れることにしました。すなわち、第二学年から文型、理型のクラス編成を行うことです。このことは、今年度入学の一年生から適用することになり、進路の目標決定を一年早くめねばならないという大変さは伴いますが、これにより、

もちろん、保護者の、生徒と表裏一体となった適切な指導がなければならぬことはいうまでもありません。

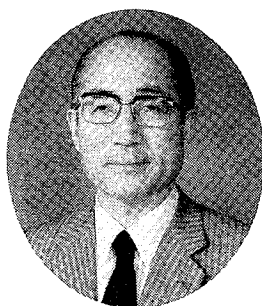
話題が変わりますが、大崎高校の校長として寸時も頭から離れない事柄に、皆さんにとっても大きな関心事になっている道路問題があります。

平成五年には学校の正門前ま

ようが、学校としてはどのような順序で校内部分の道路建設が行われてもよいように、総合的な計画を学校案として纏め、都に要望する段階に来ていると考えております。

幸いにも、過去の経緯から考えて、道路が校内を地下で通過するということは、最早現実的ではないということ

### ご挨拶をかねて



校長 西山 孝

私として大変光栄に思うと同時に、責任の大きさをひしひしと感じております。

本校は、武藤前校長をはじめとした関係各位のご尽力により、体育館、格技棟が一昨年完成し、存在はゆるぎないものになりました。また、制服の制定は、特に生徒の保護者に大きなメリットをもたら

の学校が、その特色を打ち出して、お互いの良さを競い合っている、レベルの向上を図らなければならない時期に来ています。

大崎高校の人氣も、単なるムードだけの人氣ではなく、実質の伴ったものにならなくてはと思っています。

幸い、教職員の協力が得ら

入学生徒の進路希望の実現に大きなプラスになるものと信じています。

あとは、生徒の自覚と、その生徒の自覚が情報と体験を基にしながら、いかに生徒に目標として意識させるかということ、そして良い授業をすることだと思います。

での用地買収が完了し、学校前までの道路が完了することになっております。

また、学校裏の新幹線横須賀線部分、両者の下を補助二十六号線が通るとい計画で住民説明会が行われました。その部分の買収と道路建設は、また先のことになりまし

一致してまいりますので、今後は大崎高校の教育的環境をいかにしたならばベストの状態を保持できるように努めるかというところにエネルギーを注がねばと思っております。

同窓会各位の深いご理解と積極的なご協力を是非いただきたいと思っております。

なお、同窓生各位には、こ

長く曲折に富んだ昭和が終止符を打ち、平成となったこの一月来暖冬が続く、老人には快適な冬でした。そして早い春の到来と共に我が家の庭には椿、ばけ、海棠、雪柳、蓮きょう等色とりどりに賑わいを見せ、いつも乍ら心なごむ毎日を送っております。桜も満開とかこの春も、私の七十九回目の誕生日を祝ってくれ

せるため、日に何回パン層を撒くことでしょうか。つぐみは唯一羽で来、むく鳥は決って二羽ついで来ます。むく鳥の橙色の嘴と足を見るのが楽しみです。

この様に全く私の生活は、勿体ない程平穩。足の調子がよければ時には各種の展覧会にも出かけます。又適当な刺戟となつて居るのは、中学

しかし母の日の梧桐会、春又秋の同期会、クラス会等にはいそぐと出向いております。

その他今は大半退職された先生方十人余りの集いがあります。それは四十二年卒業の方々が担任した中山先生を中心としたグループで、他に数名旅行仲間の方が加わって

私が都に奉職した翌、十五年に大崎の假校舎から今の地に移りました。あの時の情景も思い出されませんが、母の日にさながら蟻の行列のように第二京浜を徒歩で運んで来たのであったか、今では想像も出来なことです。

移転直後は体育館もないま、入学式等も外に椅子を持ち出して行いました。でもあの頃の生徒とのつながりは暖かかったように思います。先生方も皆立派な方々でよい雰囲気でした。和気あいあい、霧気でした。和気あい、霧気の中にも時に議論を交わし職員会議が夜半に及んだことも懐しく思い出されます。

教育熱心と云えば田口先生もその一人で、先生の遅刻取り締りは有名、登校時刻後も門前まで違反者の生徒手帳を取り上げて反省を促し、或は門外線路際の角まで出られて「急げ、急げ」と叱咤されたこと

特に長年同窓会顧問としてその礎を今日あるものに築かれた事は今更申し上げるまでもございませぬ。母の日に校門をくぐる度に先生の面影が偲ばれてなりません。

「大崎に骨を埋める」のだと生前幾度仰ったことでしょうか。その通り現職で「世界になりましてが、先生のご意志は永久に梧桐会の中にその精神として生き続けること

等。

幸い、代々立派な方々が会長さん又は幹事さんとして受け継がれ、ご協力されて他校に多分類を見ない同窓会の存在のようになっているのですが、その栄ある総会が今年も五月十四日にめぐって参りました。是非出席いたし一人でも多くの卒業生の方々に御目にか、り、例え一言でもお話をすることが出来ますよう楽しみに当日を待ち望んでおります。

### 職員だより

おられますが、昔の仲間を持つという事、それに参加出来ること素晴らしい有難いことです。

四十二年頃と云いますと受験勉強華やかな時代でした。補習授業が放課後もありました。師弟共に一生懸命でした。英語もサイドリーダーとしてロバートランド、サマセット

読みまくなりました。そして最近では塾通いの時代、高校生も塾へと傾斜しては、高校という存在はどうなるのでしょうか？

世の中は移り変わるものですから、性急な是非の判断は慎まねばなりません。昔は良かった「……」の思いは又飛躍して今の校舎の移転へとさ

か上ります。

私が都に奉職した翌、十五年に大崎の假校舎から今の地に移りました。あの時の情景も思い出されませんが、母の日にさながら蟻の行列のように第二京浜を徒歩で運んで来たのであったか、今では想像も出来なことです。

移転直後は体育館もないま、入学式等も外に椅子を持ち出して行いました。でもあの頃の生徒とのつながりは暖かかったように思います。先生方も皆立派な方々でよい雰囲気でした。和気あいあい、霧気でした。和気あい、霧気の中にも時に議論を交わし職員会議が夜半に及んだことも懐しく思い出されます。

教育熱心と云えば田口先生もその一人で、先生の遅刻取り締りは有名、登校時刻後も門前まで違反者の生徒手帳を取り上げて反省を促し、或は門外線路際の角まで出られて「急げ、急げ」と叱咤されたこと

特に長年同窓会顧問としてその礎を今日あるものに築かれた事は今更申し上げるまでもございませぬ。母の日に校門をくぐる度に先生の面影が偲ばれてなりません。

「大崎に骨を埋める」のだと生前幾度仰ったことでしょうか。その通り現職で「世界になりましてが、先生のご意志は永久に梧桐会の中にその精神として生き続けること

等。

幸い、代々立派な方々が会長さん又は幹事さんとして受け継がれ、ご協力されて他校に多分類を見ない同窓会の存在のようになっているのですが、その栄ある総会が今年も五月十四日にめぐって参りました。是非出席いたし一人でも多くの卒業生の方々に御目にか、り、例え一言でもお話をすることが出来ますよう楽しみに当日を待ち望んでおります。

等。

幸い、代々立派な方々が会長さん又は幹事さんとして受け継がれ、ご協力されて他校に多分類を見ない同窓会の存在のようになっているのですが、その栄ある総会が今年も五月十四日にめぐって参りました。是非出席いたし一人でも多くの卒業生の方々に御目にか、り、例え一言でもお話をすることが出来ますよう楽しみに当日を待ち望んでおります。

### 大崎高校の思い出

旧職員 小林 ふみ子

その上嬉しいのはこの季節、バードウォッチングの出来ること。雀、ひよどり、つぐみ、むく鳥、めじろ、四十雀など、何より嬉しいのは鶯がまだ時折訪れ、その牙えた鳴き声を披露してくれること。虫の好きな鳥たちは別として、彼らをおびき寄

高校生である孫四人に英語を教えていること等。

退職後の十一年余、前半は毎年のように海外へ出かけ、自己満足し、一人よがりな世界を知ったような気になって居ます。そして年と共に国内旅行も間遠くなってきました。持病とのお付合を余儀なくさせられますので。

おられますが、昔の仲間を持つという事、それに参加出来ること素晴らしい有難いことです。

四十二年頃と云いますと受験勉強華やかな時代でした。補習授業が放課後もありました。師弟共に一生懸命でした。英語もサイドリーダーとしてロバートランド、サマセット

読みまくなりました。そして最近では塾通いの時代、高校生も塾へと傾斜しては、高校という存在はどうなるのでしょうか？

世の中は移り変わるものですから、性急な是非の判断は慎まねばなりません。昔は良かった「……」の思いは又飛躍して今の校舎の移転へとさ

か上ります。

私が都に奉職した翌、十五年に大崎の假校舎から今の地に移りました。あの時の情景も思い出されませんが、母の日にさながら蟻の行列のように第二京浜を徒歩で運んで来たのであったか、今では想像も出来なことです。

移転直後は体育館もないま、入学式等も外に椅子を持ち出して行いました。でもあの頃の生徒とのつながりは暖かかったように思います。先生方も皆立派な方々でよい雰囲気でした。和気あいあい、霧気でした。和気あい、霧気の中にも時に議論を交わし職員会議が夜半に及んだことも懐しく思い出されます。

教育熱心と云えば田口先生もその一人で、先生の遅刻取り締りは有名、登校時刻後も門前まで違反者の生徒手帳を取り上げて反省を促し、或は門外線路際の角まで出られて「急げ、急げ」と叱咤されたこと

特に長年同窓会顧問としてその礎を今日あるものに築かれた事は今更申し上げるまでもございませぬ。母の日に校門をくぐる度に先生の面影が偲ばれてなりません。

「大崎に骨を埋める」のだと生前幾度仰ったことでしょうか。その通り現職で「世界になりましてが、先生のご意志は永久に梧桐会の中にその精神として生き続けること

|    |     | 63年度予算    | 63年度決算    | 内 容                 | 元年度予算     |
|----|-----|-----------|-----------|---------------------|-----------|
| 収入 | 繰入金 | 298,097   | 298,097   | 新会費<br>入会費<br>寄付、利息 | 213,097   |
|    | 繰入金 | 1,870,000 | 1,870,000 |                     | 1,875,000 |
|    | 繰入金 | 200,000   | 168,000   |                     | 220,000   |
|    | 合 計 | 2,368,097 | 2,336,097 |                     | 2,308,097 |
| 支出 | 総会費 | 350,000   | 398,000   | 模範店、アルバイト           | 400,000   |
|    | 幹事費 | 1,200,000 | 1,102,000 | 印刷、編集、連絡費           | 1,150,000 |
|    | 事務費 | 250,000   | 234,000   | 送付、通名簿積立            | 250,000   |
|    | 製簿費 | 200,000   | 175,000   | 会費、通名簿積立            | 180,000   |
|    | 製簿費 | 50,000    | 20,000    | 会費、通名簿積立            | 30,000    |
|    | 製簿費 | 200,000   | 194,000   | 会費、通名簿積立            | 180,000   |
|    | 製簿費 | 118,097   | 0         | 会費、通名簿積立            | 118,097   |
|    | 合 計 | 2,368,097 | 2,123,000 |                     | 2,308,097 |

会計報告

会報委員会からのメッセージ

名簿の完成により、多くの方々の住所が判明し、会報が届くようになりました。しかし、依然として所在不明の方が多く、現状です。皆さんのまわりで会報が届かない会員の方はいらっしゃいますか？ いらっしゃいましたら、お手数でもその方の住所・氏名等を事務局までお知らせ下さい。



みなさんこんにちは。自分は在学中、水泳部に所属していましたが、このため、すばらしい仲間をたくさん見つけることができました。この仲間こそ、自分が入学するその前から活動していた、水泳部だけでなく、部外者や他校の生徒などで構成された、五十人程度の気の合う仲間でありました。

**OSRCの活動**

今回の会報で、この仲間のことを紹介しようと思ったのは、自分が大崎高校在学中に見つけた、一生付き合っていきたい水泳部を主とした仲間間で、現在活動しているOSRC（オオサキ・スキー・レジャー・クラブ）のことを皆さんに知っていただきたいと思ったからです。このOSRCとは、結成して現在で五年目を迎えるクラブです。

主な活動内容は、まず、春の洗足池でのお花見があり、そして、四月から五月には、この梧桐会報の発送をお手伝いさせて頂いております。その中でも心に残っていることは、一万通を超える会報を折る作業です。四人程度でこの数を折るので、使用して

**在学中の楽しい話**

OSRCの会員は、度々会って是在学中のハブニングなどを話して楽しんでます。まず思い浮かぶのは、生物の受け持ちだった青木先生のことです。先生は、授業ではとても厳しく、またとても楽しい先生でした。自分が在学中のときの大雪の降った次の日のこと、自分達がバスケットコートの中で雪合戦をして

**OSRCについて** 鈴木 一郎 (62年度卒)

**われら同窓生**

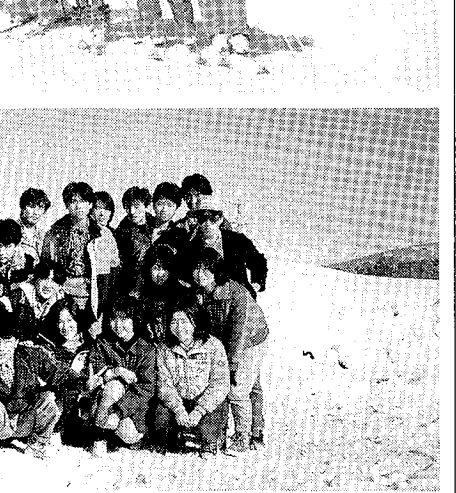
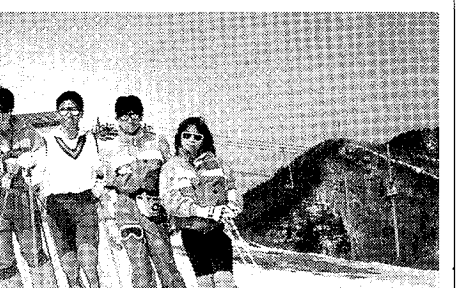
作っておいた直径五センチ位の塊を先生の頭の上に落しました。その瞬間から先生の顔から微笑みが消え、自分に向かって先程作った塊を持って走りだしました。先生はすべてを忘れ自分を追いかけ、校舎内に入り、廊下を走り、遂に自分を追い詰めました。ふと先生は我に帰り、そこが教員室であることに気がつき、照れながら外に出ていったという話がありました。

**スキーツアー**

会員のほとんどが高校生だった時は、一シーズンに三回行っていました。まず幹事を決めて行く人数や予算などを調べ、その予算内で一番安く良いイベントの付いたスキーツアーを探し、その旅行会社に申し込みました。しかし、百何十冊の旅行会社のパンフレットを見て計算を、予算内に納めることは大変な



ことでした。今まで安い民宿やホテルとは違い、三十人位で貸し切りになるような小さなロッジでしたが、とてもきれいでサービスも良く、何となくお食事もおいしく、シングルベッド付きという所に泊まれるようにまでなりました。今回はスキー場も良く、一行は大満足で、来年もまたこのロッジにお世話になろうと言っています。また、今回はビデオ撮影もあり、たいへん盛り上がりました。そして初めてスキーに行った時と比べて、みんなのスキーのレベルが上がりました。



**昭和三十二年卒業生 進路状況 (四月十五日現在)**

| 進学  | 短期大学  |
|---|---|
| 青山学院 一 亜細亜 四<br>桜美林 二 関東学院 二<br>京浜女子 一 国士館 一<br>駒沢 二 相模女子 一<br>淑徳 一 城西 一<br>白百合女子 一<br>昭和女子 一 専修 一<br>創価 一 大東文化 一<br>玉川 一 中央 一<br>帝京技術科学 二<br>帝京 三 東海 三<br>東京家政学院 一<br>東京家政 二 東京国際 二<br>東洋 一 独協 三<br>二松学舎 一 日本女子 一<br>日本 二 日本福祉 一<br>法政 二 明治学院 一<br>明星 一 立正 二 | 千葉県立衛生 一<br>桜美林 二 大妻女子 一<br>学習院女子 一<br>川村 一 共立女子 一<br>関東学院女子 五<br>敬愛女子 一 国際 一<br>駒沢 三 相模女子 二<br>産業能率 二 淑徳 四<br>昭和女子 三 昭和音楽 一<br>松蔭女子 一 白梅学園 一<br>杉野女子 二 星美学園 一<br>創価女子 一 洗足学園 一<br>田中千代学園 一<br>玉川学園女子 一<br>調布学園女子 一<br>鶴見女子 三<br>帝京女子 一 戸板女子 二<br>東京家政大 二<br>東京女子体育 一<br>東京女子体育 二<br>東京成徳 四 東京農大 一<br>東洋女子 二 日本経済 一<br>富士 五 横浜女子 一<br>北海道文理科 一<br>短期大学計七十九<br>専修・各種学校計一〇三 |

**就職**

NECデザインマイコンシステム  
NECホームサービス  
荏原製作所 大田工業所  
近畿電気工事 幸田  
クラウンスポーツ 三景  
三銀オペレーションサービス  
品川信用組合 昭和大学  
新日本検定協会 新明和工業  
テツカ 東洋機工  
東京相互銀行 東京都市銀行  
トヨタビスタ東京  
トヨタベトナムサービス  
日航健康保険組合  
日産自動車  
ニッポンレンタカー 東都  
八平 古河電工  
三菱鉛筆 都ホテル東京  
国家公務員 地方公務員

# 北海道の自然に魅せられて

稲永 裕子(茂住) (54年度卒)

東京の実家は、戸越公園をはさんで、大崎高校のすぐ近くなので、帰京すればいつも大崎高生の制服姿をなつかしく見ることがあります。

北海道に住んで四年余り。東京は、遠い、なつかしい故郷となつてしまいました。同じ日本とは思えない程、気候風土が違い、まだ北海道人にはなつかない生活から、吹雪や、玄関ドアがバリバリに凍る氷点下の玄関、雪で車が動かなくなったりという冬の厳しさを経験して、徐々にこちらの生活にも、慣れてきたと云うです。

私の高校三年間は、部活に精を出したわけでもなく、勉

強や趣味に打ち込んだものでもなく、ただ三年の時間だけが流れていったように思えます。その三年間の反動からか、二十歳の頃からは、ひとり旅もしまくり、特に北海道の自然に魅せられ、縁あってこちらに住むに至っています。北海道の自然への憧れは、大崎への通学路として親しんでいた戸越公園の人工的とはいえず、東京では少し、小さな自然の季節感を味わえた環境によつたのかも知れません。山の上のイチヨウの木が好きでした。桜の季節が大好きでした。

こちらの生活は、憧れながら、街も東京のように華やかな活気に満ちているわけでは

ありませんが、自然は一級品です。冬は、流水で埋め尽くされるオホーツク海からは、遠く知床の山並みが望め、沿岸には、いくつもの湖、ビーチや、じゃがいも、麦畑がうねり、夏には、様々な花が咲き乱れます。何よりも空気が澄んでいます。空気が澄んでいるので、空も太陽の光もきれいで、風景に透明感があるように感じます。雪が解ければ、何ヶ月も見ることのできなかった、緑に会えます。早く郭公の音が聞きたい。

まだまだ、東京を引きずっています。あせらず、ゆっくりと、この地になじんでゆきたいと思っています。

# 平成元年に思うこと

笠原 敬子(島村) (28年度卒)

昨日テレビで上野の三分咲きの桜を拝見しましたが、越後新津も驚異的暖冬が終り、早くも春の花々が色鮮やかに咲き始めました。ここは新潟市から南へ電車で十五分の「花と緑と石油の里」秋葉山観光を市のキャッチフレーズにしている人口六万五千人の静かな町です。

私は昭和三十八年に郷里の県立高校に赴任する夫について当地に参りました。以来主婦専業二十六年のベテランです。その間生まれた女の子三人は全員成人し、一昨年に長女、昨秋は二女が嫁いで行きました。母親の役目もほぼ果たし、時代も新たな平成となつて、これからは自分の世界を生きたいと思つています。果たしてどこに私の世界を見つけられるかわかりませ

んが、今私が楽しんでいることは、四十才を過ぎて覚えたスキーと、週二回通っている卓球クラブの練習で汗を流す事です。今年は少雪で残念ですが、私はスキーを始めてから、私がスキーを始めた動機といえは「東京の青空と暖かい太陽」を恋しがることな

く、「鉛色の空と冷たい雪をどうしたら好きになれるか」という課題からでした。今でもスキーの腕前はさっぱりですが、毎年冬が来ると雪が降るのを待ち遠しく思う様になりました。卓球については、大崎高校一年生の時入っ



二女の結納の日に撮ったものです

た卓球部以来の私の趣味になつていきます。当時の大崎高校は二階建の小さな校舎が二棟だけの勿論体育館などはありませんでした。卓球部は教室の机を片付けて台を運び入れてからの練習でした。基礎フォームなども上級生から少しばかり指導して頂いただけでしたが、現在この年齢になつても新津市民卓球大会などでまあまあ成績を上げられるのは大崎高校卓球部に在籍していたお蔭と感謝しています。これからも体力の続く限り楽しみながら頑張つて一寸でも技術向上が出来ればと思っています。

新幹線でたった二時間とはいっても、同窓会や同期会には仲々出席出来ないで無沙汰しています。

梧桐会皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

# 同期会のお知らせ

## 昭和42年3月卒業生同期会

日時 5月14日(日) 午後3時~5時  
場所 西友大森店5Fバンケットホール  
TEL 03-768-3572  
会費 6,000円(当日持参)  
※当日は梧桐会総会の日。  
幹事 清水和枝(堤) 森脇せつ子(堀) 横山初恵(鈴木)  
末吉 行雄 千葉治男

**卒業二十五年目の同期会**

平成元年から新しい祝日となり、四月二十九日(土)午後一時より、昭和三十九年三月卒業生の同期会が、JR大崎駅前「大崎ニユースティン」で行われました。

出席者は恩師の諸先生も含め約六十名を数え、誠に盛り上がった同期会となりました。卒業以来二十五年ぶりの再会をした方も多く、顔と名前を一致しない方もあるのではと、全員が胸に名札をつけての楽しい二時間半でした。

息子さんが大崎に入学して、今は時々学校へ行つて

いる方、二人の受験生を抱えて頑張っている方、子育ても終り今を大いに楽しんでいる方。移転先がわからず連絡出来なかったのに、聞きつけて遠くから出席された方。久しぶりに学生時代に戻ったように楽しい時間を過ごしました。卒業時クラス担任をして頂いた先生方も全員出席され、懐かしい御話等に華が咲きました。

当日、スケジュールの都合で残念ながら欠席された方も多く、次回には是非出席したい旨の返事も寄せられました。

◇平成最初の梧桐会報を今、お届けします。元号は改まりましたが、さて内容はどうか、たてしうか。

◇昨年と同じことを書きます。三月上旬原稿依頼、同月下旬三入稿、四月中旬追加原稿を依頼、同月二十五日最終入稿として、その日の深夜、編集後記を執筆(いやワープロで入力)する。今年は本業の忙しさを追われ、会報に着手するのが延び延びとなつてしまつた。今年は母の命が十四日だから余裕があるさ、と思つた。長谷山先生にお願いしたが、校長先生の原稿も四月二十五日朝にいただくという、アプナイことをしています。

◇会報だよりについては、宛先を参考に、住んでいる地方、卒業年度などをできるだけ散りばめて依頼しましたが、転居先不明等で半分戻つてきてしまいました。中には名簿には載っているが卒業していないという方もいました。掲載になったのは、北日本女性の性ばかりになってしまいました。そんなわけで急ぎよ鈴木一郎君にご登場願いました。無理言つてすみません。

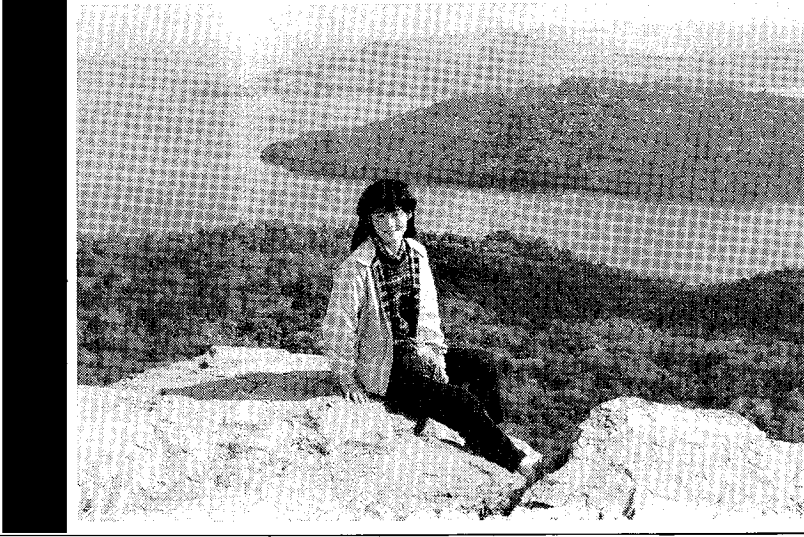
◇この一年間の住所変更を集めてみたら、かなりの数になりました。一挙掲載してしまいましたが、これで全部ではないと思つて、皆さんも転居されたら、必ずご連絡下さい。連絡がありませんか、と、後会報が届かなくなりました。

◇同期会の情報が何件か寄せられていました。同期会でなくても構いません。クラス会でもクラブのOB会でも結構です。会報発行時期を基準に、終わったものは結果報告を、これからのお知らせを、どしどしお寄せ下さい。

(なべちゃん)

# 北国から

市川 敬子(阿部) (45年度卒)



青森に嫁いで早10年がたちました。様々な問題、不安をクリアしながらの10年間だった様に思います。

雪といえば、ロマンチックという思いで来た私にとって、毎日毎日灰色の空から降り続く雪は、まさに「白魔」でした。朝昼晩の雪かきは、雪と人間のおいかけごっこです。東京では想像できない生活でした。それでも10年の歳月は雪と私を友達にさせてくれました。悩まされた津軽弁もすっかり身につけ、東京出身であることを忘れてしまったよう

です。

昨年四月に上京の際、大崎高校テニス部の仲間と17年ぶりに会うことができました。お互いの顔をみたとたん、あの可愛いかった高校生に逆もどりで、なまげいからはじまって、練習、合宿、試合と思ひ出され、懐かしさでいっぱいになりました。卒業後はそれぞれ進んだ道は違つていても、青春のひととき、同じ夢を持って、汗した仲間がいたことは、私にとって大きな財産になりました。これからも高校生の時の一途を素直だっ

た時の気持ちをいつまでも持ちつづけたらいいと思いを新たにしました。

今年も年女。最大の目標は八甲田山の樹氷の間をすべりおろすこと。でもボーゲンからぬけられない私には無理かしら。

暗いイメージのつきまとう大崎高校テニス部OB(全員45年度卒)右端が私です。

青森ですが、8月には、熱狂的な「ねぶた祭り」もありまして、是非一度、皆さんも、北国の人たちの熱い想いを味わってみてはいかがでしょうか。

62・63年度 寄付者氏名(敬称略)

桂田直枝 水戸キヨシ、伊東京子、武田元樹、中野真理子、三瓶照子、関沢敏子、関沢ひろみ、野坂啓子、曾我二郎、田上茂夫、鈴木義孝、西井トシ子、中野真理子、鮫島綾子、長島トモ子、西田恵美子、永島正春、山下郡義、山下カヨ子、野坂啓子

**新幹事(63年度卒)**

A 宮下 毅 和田幸代  
B 浅野三千夫 大泉靖子  
C 神保悟志 山本早苗  
D 工藤淳也 吉田真理子  
E 板橋将浩 森 幸恵  
F 高山義治 長谷山三枝子  
G 杉浦弘起 岡野桂子  
H 宮本 徹 益富恵子

同期会・クラス会の幹事さんへ  
同期会・クラス会を開かれる時は、事務局へ(一)報下さい。梧桐会より僅かですが、五千円援助させていただきます。最新の名簿と報告(原稿)をお送り下さい。

◇平成最初の梧桐会報を今、お届けします。元号は改まりましたが、さて内容はどうか、たてしうか。

◇昨年と同じことを書きます。三月上旬原稿依頼、同月下旬三入稿、四月中旬追加原稿を依頼、同月二十五日最終入稿として、その日の深夜、編集後記を執筆(いやワープロで入力)する。今年は本業の忙しさを追われ、会報に着手するのが延び延びとなつてしまつた。今年は母の命が十四日だから余裕があるさ、と思つた。長谷山先生にお願いしたが、校長先生の原稿も四月二十五日朝にいただくという、アプナイことをしています。

◇会報だよりについては、宛先を参考に、住んでいる地方、卒業年度などをできるだけ散りばめて依頼しましたが、転居先不明等で半分戻つてきてしまいました。中には名簿には載っているが卒業していないという方もいました。掲載になったのは、北日本女性の性ばかりになってしまいました。そんなわけで急ぎよ鈴木一郎君にご登場願いました。無理言つてすみません。

◇この一年間の住所変更を集めてみたら、かなりの数になりました。一挙掲載してしまいましたが、これで全部ではないと思つて、皆さんも転居されたら、必ずご連絡下さい。連絡がありませんか、と、後会報が届かなくなりました。

◇同期会の情報が何件か寄せられていました。同期会でなくても構いません。クラス会でもクラブのOB会でも結構です。会報発行時期を基準に、終わったものは結果報告を、これからのお知らせを、どしどしお寄せ下さい。

(なべちゃん)